

領域4 インフォーマルミーティング議事録

2015年秋季大会

2015年9月17日 17:00～18:00 関西大学 BB会場

岡本 徹(領域代表)、小林 研介(領域次期副代表)

運営委員

(2014年10月 - 2015年9月)

藤元 章(大工大)、佐藤 昌利(京大基研)

(2015年4月 - 2016年3月)

阪野 暎(東大物性研)、原田 幸弘(神戸大)、中島 峻(理研)

(2015年10月 - 2016年9月)

福島 鉄也(阪大基礎工)、守谷 頼(東大生産研)、塩見 雄毅(東北大金研)

(2016年4月 - 2017年3月)

岡野 真人(慶応大)、内海 裕洋(三重大)

【報告事項】

1. プログラム小委員会・領域委員会報告

- シンポジウム23(15)件, 招待講演12(9)件, 企画講演22(16)件, チュートリアル講演2(2)件 (カッコ内は物性分野)

領域4主催: シンポジウム1件, 企画講演1件

登壇者所属について修正後、承認された。所属の重複は原則不可なので、次回以降注意 (今回は実験/理論の違いを補足として追加し、内容の違いを明確化した)。

- 概要集アクセス権について

複数の講演を1つのPDFファイルに収めてダウンロードできるように変更された。全参加者に概要集を配布し、参加費を値上げする方向で検討を続けており、各領域の意見を募る -> 審議事項5参照。

- 領域名略称の変更について

「半導体、メゾスコピック系・局在」から「半導体、メゾスコピック系・量子輸送」への変更が承認された。

- 若手奨励賞実施要領の改訂について

以下のように改訂になった。

「過去に本賞受賞経歴がある者の再受賞は認めない。また、申請時に自薦による複数領域に応募は認めない。[削除: 他薦により複数領域で候補者となった場合は候補者が一つの領域を選択するものとするが、本規定等により]受賞候補辞退者が出た場合でも、それによる繰り上がり受賞はないものとする。」

2. 若手奨励賞について

- 応募状況：理論4名、実験4名
- 9/17現在審査中。
- 応募数は徐々に増加している。
来年以降も引き続き応募を促すべき。特に一度落選したからといって再度応募することに何ら問題はない。

【審議事項】

1. 次期領域代表、副代表

次期代表：都倉 康弘、次期副代表：小林 研介
承認された。

2. 新運営委員

新委員(2015年10月-)：

福島 鉄也(阪大基礎工)、守谷 頼(東大生産研)、塩見 雄毅(東北大金研)
の3氏から挨拶があった。

次期委員(2016年4月-)：

岡野 真人(慶応大)、秋葉 圭一郎(東京農工大)、内海 裕洋(三重大)
の3氏が承認された。

3. プログラム編成に関して

- 領域8、9とのトポロジカルセッションの合同開催について
合同開催の希望者があったが、調整の上取りやめとなった。
領域8のプログラム編成は遅いので、合同開催を検討する場合はこちらから
早めに動いて希望を伝える。
- 領域7とのグラフィエンの合同開催について
今回は領域4主催のセッションを2つに詰め込んだ(前回は3セッション)。
プログラム編成時には領域7とのすり合わせを早めに終えてグラフィエンセ
ッションの日程を決めないと、他のスケジュールを組めないので注意。
- ストレージサービスの利用について
SugarSyncの無料サービス終了に伴い、ファイル共有をDropboxに移行した。
移行後特に問題は発生していない。
新運営委員を共有メンバーに追加する。
- 今後のスケジュール

シンポ・企画講演の公募締切 10/23
プログラム小委員会・領域委員会 11/17
インフォーマルミーティング申し込み締切 11/20
講演申込締切 11/22
プログラム編集会議 12/4
年次大会 2016年3/19～22(東北学院大学 泉キャンパス)

4. キーワードについて

- 第一キーワードの「局在」を選択した今回の講演者数はゼロ。領域略称から「局在」が除かれたことに対する措置として設けているキーワードなので、次回まで残して様子を見る。
- 第三キーワードの「アモルファス・微粒子・クラスター」は削除することが既に承認されているが、再確認をした。
- キーワード変更の締切は9/27。藤元氏に学会への連絡をお願いした。

5. 概要集電子化について

- 概要集代を参加登録費の中に含めた方が良いという意見が出ている。
- これに関連し、購入状況、使いやすさ、価格について意見交換をした。
- 領域4としては、概要集代を参加登録費に含める案を積極的に支持することとした。

6. 拡大物性委員会の開催時間について

- 拡大物性委員会の開催時間を17:30～に前倒しするため、プログラム編成時に協力してもらえないかという要望があった。
- プログラム編成には様々な制限があるため、特別な対応はしないこととした。

7. 年次大会のシンポジウム・企画講演等について

- これまで通り運営委員がなるべく1件はシンポジウムをするよう努力する。
- シンポジウム企画について：阪野氏を中心に、「揺らぎ、非平衡系」をテーマとした企画を検討中。2012年秋の「揺らぎ」シンポジウムとの差異について要注意。Plan Bとして「電子量子光学」についても検討。
- 企画講演・招待講演については今のところ提案なし？
- 締切：10月23日

8. 領域4ホームページとメーリングリストの管理について

- 領域4HPおよび運営委員MLの担当は原田氏。次期担当は守谷氏。
- 領域4MLへの投稿を領域外から依頼された場合は、適宜気づいた人が対応。

9. その他

以上

